

部 会	助 言 者	所 属	参加者数
精神薄弱養護学校	大南 英明 小出 進 吉田 昌義	東京都教育庁指導部心身障害教育指導課長 千葉大学教授 文部省初等中等教育局特殊教育課教科調査官	197
肢体不自由養護学校	大野 清志 細村 迪夫 西川 公司	大妻女子大学教授 群馬大学教授 文部省初等中等教育局特殊教育課教科調査官	70
病弱養護学校	加藤 安雄 中井 滋 山本 冒邦	横浜国立大学教授 宮城教育大学助教 文部省初等中等教育局特殊教育課教科調査官	47

(3) 特殊教育教育課程編成管理講習会

7月15・16日に、福島市で開催された文部省主催の地区別特殊教育教育課程講習会を受け、小学校及び中学校特殊学級並びに盲・聾・養護学校小学部、中学部、高等部の教育課程の編成、管理及び養護・訓練に関する講義、研究協議を実施し、教育課程の適切な運営が図られるようにした。

部 会 名	期 日	会 場	人数	参加対象	
共 通 部 会	12月1日(水)	養護教育センター	21人	教頭 (各校1名)	
盲 学 校 部 会	8月27日(金)	盲 学 校	8人	教諭	
聾 学 校 部 会	9月2日(木)	聾 学 校	8人	〃	
精 神 薄 弱 養 護 学 校 部 会	11月2日(火)	養護教育センター	48人	〃	
肢 体 不 自 由 養 護 学 校 部 会	10月28日(木)	平 養 護 学 校	21人	〃	
病 弱 養 護 学 校 部 会	9月3日(金)	須 賀 川 養 護 学 校	12人	〃	
精 神 薄 弱 特 殊 学 級 部 会	県 北	11月29日(月)	東分庁舎	15人	特殊学級設置校教頭又は学級担任
	県 中	11月22日(月)	郡山市中央公民館	15人	〃
	県 南	10月18日(月)	白 河 合 同 庁 舎	10人	〃
	会 津 津 南 会 津	10月15日(金)	会津若松市立城南小学校	12人	〃
	相 双	11月5日(金)	原 町 合 同 庁 舎	10人	〃
	い わ き	11月4日(木)	い わ き 合 同 庁 舎	10人	〃

(4) 養護教育地域交流推進事業

① 趣 旨

障害のある児童生徒たちが健常児や地域社会の人々と交流活動を通して、経験や社会性を育むとともに、健常児や地域社会の人々に養護教育に対する正しい理解や認識を得るための事業である。

平成5年度より2年間にわたる事業であり、地域や学校の実態に応じた地域社会との交流活動や学校相互の交流を行うよう計画し、実践を進めている。

② 実施校及び協力校等

○ 実施校

県立いわき養護学校

○ 協力校

いわき市立平第六小学校、いわき市立第二中学校

○ 地 域

いわき市神谷地区

③ 運営連絡協議会

○ 委 員 10名

会 長 県立いわき養護学校長 穀 野 只 信

副会長 中神谷地区長 中 野 久 守

○ 会 議

第1回運営連絡協議会

第2回運営連絡協議会

④ 実施状況

○ 事業運営連絡協議会の設置・運営

○ 心身障害児や養護教育に関するアンケート調査

○ 交流活動計画の作成

○ 学校間交流活動の実施

○ 合同授業の実施

○ 地域団体との交流活動の実施

(5) いきいきふれあいフェスティバル

県内の8つの養護学校で学ぶ児童生徒が、社会参加・自立を目指し、積極的に努力している姿や教育効果を、広く県民に公開し、児童生徒の障害や養護教育について理解啓発を図り、学校週5日制実施に伴う児童生徒の受け皿つくりのため条件整備の充実を目的として実施した。

6,000名を越す地域の人々、高校生、ボランティア、保護者、児童生徒、教員が集まって、一緒に活動した。

開催校	実施期日	実 施 内 容
郡山養護学校	10月1日(金)～3日(日)	開会行事、ふれあいフェスタPR作戦、つくってみっか、芋煮会、ウォークラリー、ステージ行事
郡山養護学校安積分校	10月30日(土)～31日(日)	交流会、学習発表会、作品展示・販売・体験コーナー
西郷養護学校	11月6日(土)～7日(日)	作品展示会、学習発表会、展示即売会
石川養護学校	11月5日(金)～7日(日)	授業公開、作品展示会、ロボット実演、踊り交流会、石養まつり